



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小野 信哉 TEL 022-243-5091
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,382	3.4	180	6.9	197	5.8	124	3.4
2026年3月期第1四半期	5,204	2.9	169	△26.8	186	△26.3	120	△27.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	17.72	—
2026年3月期第1四半期	17.14	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	15,633	7,804	49.9	1,106.16
2026年3月期	16,606	7,733	46.6	1,096.08

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 7,804百万円 2026年3月期 7,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期 (予想)	—	0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,700	1.3	△150	—	△125	—	△125	—	△17.72
通期	22,800	1.3	700	7.9	750	6.5	370	3.7	52.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	7,275,500株	2026年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	220,000株	2026年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	7,055,500株	2026年3月期1Q	7,055,500株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな回復基調で推移致しました。一方で、エネルギー価格や各種原材料価格の上昇に伴う物価上昇が継続し、個人消費は一部持ち直しの動きがみられるものの、中東情勢をはじめとする地政学リスクや金融資本市場の変動等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましても、仕入価格や人件費をはじめとする各種コストの上昇が継続しており、厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、会社方針に『「良樹細根」根が細かく深く張っている木は、枝葉も豊かに生い茂る良い木となる。』を掲げ、将来の成果に繋がる基盤である「根っ子作り」を重視し、挨拶、名刺配布、複写ハガキ、会員獲得、車検予約等の活動拡大を全社で徹底するとともに、各事業における課題に真摯に取り組み、お客様により一層ご満足いただける商品・サービスの提供に努めて参りました。

当第1四半期会計期間末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが6店舗、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗、宝くじ売場が5店舗、コメダ珈琲店が1店舗、シャトレーズが4店舗、買取大吉が1店舗の合計124店舗となっております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は5,382百万円となり、前年同期間比177百万円（前年同期間比3.4%増）の増収となりました。経常利益につきましては197百万円となり、前年同期間比10百万円（前年同期間比5.8%増）の増益となりました。四半期純利益は124百万円となり、前年同期間比4百万円（前年同期間比3.4%増）の増益となりました。増収増益の要因は主として、主たる事業であるイエローハット事業において、車検等サービスの販売が好調に推移したことに加え、全事業において売上総利益が前年同期間を上回ったことによるものとなっております。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、最重要課題に「車検の獲得」を掲げ、お客様の利便性向上と更なる収益拡大に向け、「車検指定工場化」を推進しております。その一環として「車検拡大プロジェクト」を展開し、「イエローハット車検」の認知度向上に注力するとともに、アプリ会員をはじめとした会員獲得を強化し、業務の効率化と来店頻度の向上に努めて参りました。車検等サービスの販売が好調に推移したことにより、売上高は堅調に推移したものの、賃金水準の見直しに伴う人件費の増加により、営業利益は前年同期間を下回りました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高4,141百万円（前年同期間比2.6%増）、セグメント利益（営業利益）は226百万円（前年同期間比3.9%減）となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、書籍、文具、コスメ等雑貨の商品展開を強化し物販の拡充に取り組んだことにより、当第1四半期累計期間の売上高は好調に推移致しました。また、継続的な経費削減や業務の効率化により、営業損失は前年同期間比で縮小致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高313百万円（前年同期間比5.2%増）、セグメント損失（営業損失）は12百万円（前年同期間は14百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、収益構造の見直しを継続的に進め、粗利率の向上に注力して参りましたが、主力商品の一つでもあるタイヤの買取が大幅に減少したことにより、売上高及び営業利益は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高267百万円（前年同期間比1.4%減）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同期間比14.0%減）となっております。

[その他]

その他の事業におきましては、カーセブン事業における中古車の買取台数増加により、売上高は好調に推移致しました。

ダイソー事業、コメダ事業、買取大吉事業、保険事業及び不動産賃貸事業におきましては、売上高は好調に推移致しました。

シャトレーズ事業及び宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高660百万円（前年同期間比10.0%増）、セグメント利益（営業利益）は40百万円（前年同期間比60.2%増）となっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は932百万円減少し、7,200百万円（前事業年度末8,132百万円）となっております。これは主に、現金及び預金が115百万円、売掛金が299百万円、商品が315百万円及び未収入金（その他の流動資産）が196百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の残高は40百万円減少し、8,433百万円（前事業年度末8,473百万円）となっております。これは主に、有形固定資産が6百万円及び投資その他の資産が33百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は15,633百万円（前事業年度末16,606百万円）となっております。

② 負債

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は950百万円減少し、5,277百万円（前事業年度末6,227百万円）となっております。これは主に、短期借入金が200百万円、買掛金が513百万円及び未払法人税等が238百万円減少したことによるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は93百万円減少し、2,551百万円（前事業年度末2,645百万円）となっております。これは主に、長期借入金が78百万円及び役員退職慰労引当金が14百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は7,829百万円（前事業年度末8,873百万円）となっております。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は71百万円増加し、7,804百万円（前事業年度末7,733百万円）となっております。これは主に、四半期純利益を124百万円計上並びに剰余金の配当を77百万円支払ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月8日の「2026年3月期 決算短信」で公表致しました第2四半期及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,608,550	1,492,620
売掛金	853,713	553,974
商品	5,251,710	4,935,853
貯蔵品	3,005	2,585
その他	415,924	215,316
流動資産合計	8,132,905	7,200,350
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,665,574	2,632,133
土地	2,540,599	2,540,599
その他（純額）	827,653	855,094
有形固定資産合計	6,033,827	6,027,827
無形固定資産	17,271	16,364
投資その他の資産	2,422,507	2,389,323
固定資産合計	8,473,606	8,433,515
資産合計	16,606,511	15,633,865
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,162,036	648,887
短期借入金	3,150,000	2,950,000
1年内返済予定の長期借入金	421,744	391,746
未払法人税等	262,540	24,221
賞与引当金	96,250	16,666
契約負債	281,375	286,059
その他	853,706	959,930
流動負債合計	6,227,653	5,277,512
固定負債		
長期借入金	688,708	609,947
退職給付引当金	1,542,222	1,540,865
役員退職慰労引当金	173,964	159,873
資産除去債務	188,833	189,411
その他	51,722	51,722
固定負債合計	2,645,450	2,551,819
負債合計	8,873,104	7,829,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	5,275,817	5,323,198
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	7,578,727	7,626,109
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154,679	178,424
評価・換算差額等合計	154,679	178,424
純資産合計	7,733,407	7,804,533
負債純資産合計	16,606,511	15,633,865

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,204,992	5,382,812
売上原価	2,741,903	2,806,294
売上総利益	2,463,088	2,576,518
販売費及び一般管理費	2,293,791	2,395,562
営業利益	169,297	180,956
営業外収益		
受取配当金	7,016	9,793
受取手数料	5,111	6,018
受取保険料	3,985	3,572
産業廃棄物収入	4,706	5,472
その他	7,527	5,165
営業外収益合計	28,347	30,021
営業外費用		
支払利息	9,829	12,603
その他	1,470	1,219
営業外費用合計	11,299	13,823
経常利益	186,344	197,154
特別利益		
固定資産売却益	—	38
投資有価証券売却益	914	—
特別利益合計	914	38
特別損失		
固定資産除却損	0	21
特別損失合計	0	21
税引前四半期純利益	187,259	197,171
法人税、住民税及び事業税	8,933	9,731
法人税等調整額	57,398	62,448
法人税等合計	66,332	72,179
四半期純利益	120,927	124,991

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書に関する注記)

※ 当社の主たる事業のイエローハット事業において、主力商品であるスタッドレスタイヤの販売時期が11月から12月に集中するため、通常第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	100,490千円	96,016千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,035,191	298,387	271,142	4,604,722	600,270	5,204,992	—	5,204,992
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,478	251	164	6,894	8,069	14,963	△14,963	—
計	4,041,670	298,638	271,307	4,611,616	608,339	5,219,956	△14,963	5,204,992
セグメント利益 又は損失 (△)	235,464	△14,424	29,788	250,829	25,286	276,116	△106,818	169,297

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カーセブン事業、ダイソー事業、コメダ事業、シャトレーゼ事業、買取大吉事業、不動産賃貸事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△106,818千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,141,414	313,799	267,405	4,722,619	660,193	5,382,812	—	5,382,812
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,656	573	62	8,292	7,383	15,675	△15,675	—
計	4,149,070	314,373	267,467	4,730,911	667,576	5,398,488	△15,675	5,382,812
セグメント利益 又は損失 (△)	226,247	△12,070	25,621	239,799	40,496	280,295	△99,339	180,956

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カーセブン事業、ダイソー事業、コメダ事業、シャトレーゼ事業、買取大吉事業、不動産賃貸事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△99,339千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。